



平成 27 年 7 月 31 日

## 国際情報オリンピック参加生徒の成績について

文部科学省では、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて、国際的な科学技術コンテストに参加する若者を支援する事業を実施しています。この度、カザフスタン（アルマトイ）で開催された「第 27 回国際情報オリンピック」に参加した生徒が金メダル等を獲得しましたので、報告いたします。

（共同発表：特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会）

1. 受賞状況：金メダル 3 名、銅メダル 1 名

2. 参加者：4 名の高校生等

3. 受賞者詳細：

いのうえ たくや  
井上 卓哉さん 開成高等学校（東京都） 2 年（17 歳） 金メダル

たかや ゆうた  
高谷 悠太さん 開成高等学校（東京都） 1 年（16 歳） 金メダル

ますだ たかひろ  
増田 隆宏さん 筑波大学附属駒場高等学校（東京都） 2 年（16 歳） 金メダル

まつぎき あきお  
松崎 照央さん 明石工業高等専門学校（兵庫県） 3 年（17 歳） 銅メダル

※井上さんは 2014 年及び 2015 年の国際数学オリンピックで、それぞれ銅メダルを獲得

※高谷さんは 2014 年の国際情報オリンピックで金メダルを、2015 年の国際数学オリンピックで銀メダルを獲得  
（年齢は本大会終了時点のもの）

4. 参加国数/人数：83 か国・地域 / 322 名

5. 場所 / 期間：カザフスタン（アルマトイ）/  
平成 27 年 7 月 26 日（日）～8 月 2 日（日）

6. 派遣機関：特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会

（お問い合わせ）

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 新免、棚橋、山岸

電話：03-6734-4191

特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会 事務局 杉浦、橋本

電話：03-5272-9794 E-mail：info@ioi-jp.org

### ◆大会概要

- 国際情報オリンピックは1989年にブルガリアにて第1回大会が開催された。
- 2015年のカザフスタン大会は、第27回目。
- 日本は、1994年から3年間毎年2名の選手を派遣した後、9年間の中断を経て2006年から毎年4名の選手の派遣を再開。本年は13回目の参加。
- 昨年台湾大会には、81か国・地域から311名の選手が参加し、日本は金メダル1名、銀メダル2名、銅メダル1名の受賞であった。
- 昨年台湾大会期間中に開かれた国際情報オリンピック総会にて、2018年の第30回国際情報オリンピックを日本で開催することが正式に決定した。
- 今年のカザフスタン大会では、83か国・地域から322名の選手が参加し、日本は金メダル3名、銅メダル1名の受賞であった。

### ◆日本代表団の日程

- 7月25日(土) 成田出発、カザフスタン到着
- 26日(日) 到着日
- 27日(月) 練習ラウンド 開会式
- 28日(火) 競技第1日
- 29日(水) エクスカーション
- 30日(木) 競技第2日
- 31日(金) エクスカーション
- 8月1日(土) 表彰式、閉会式
- 2日(日) カザフスタン出発
- 3日(月) 成田到着

### ◆参加生徒

<small>いのうえ たくや</small> 井上 卓哉さん	開成高等学校(東京都)	2年(17歳)	金メダル
<small>たかや ゆうた</small> 高谷 悠太さん	開成高等学校(東京都)	1年(16歳)	金メダル
<small>ますだ たかひろ</small> 増田 隆宏さん	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	2年(16歳)	金メダル
<small>まつざき あきお</small> 松崎 照央さん	明石工業高等専門学校(兵庫県)	3年(17歳)	銅メダル

#### ◆国際情報オリンピックにおける過去3年の日本代表の成績

2012年（第24回）イタリア大会

金メダル1名、銀メダル3名

（参加規模：81か国・地域、310名）

2013年（第25回）オーストラリア大会

金メダル1名、銀メダル2名

（参加規模：77か国・地域、299名）

2014年（第26回）台湾大会

金メダル1名、銀メダル2名、銅メダル1名

（参加規模：81か国・地域、311名）

#### ◆国際情報オリンピック（IOI=International Olympiad in Informatics）

国際情報オリンピックは、高校生以下の生徒を対象として、数理情報科学の問題解決能力をもつ生徒を見出し、その能力の育成を助け、また、各国の選手・教育者同士の国際交流を図ることを目的としている。1989年にブルガリアのプラベツで第1回が開催されて以来毎年開催されており、今年2015年のカザフスタン大会は第27回である。

大会の参加資格は「大会開催前年の9月から12月にかけて代表となる国の中等教育機関に在籍し、大会開催年の7月1日に20歳以下であること」とされている※。

※国内選抜大会である日本情報オリンピック（JOI）では、国際大会開催年の4月1日時点で20歳未満である高校生以下を日本代表の選考対象としている。

参加できる選手は国・地域ごとに4名以下で、成績優秀者にメダルが与えられ、金メダルは参加者の約12分の1、銀メダルは約12分の2、銅メダルは約12分の3が受賞する。

国際情報オリンピックで出題される問題では、原則として、与えられた問題を解く効率の良いアルゴリズムを考え出し（アルゴリズムの設計）、そのアルゴリズムに基づき正しく動作する解法プログラムを作成すること（アルゴリズムの実装）が求められる。使用できるプログラミング言語はC/C++とPascalである。競技日は2日あり、選手は各競技日に5時間で3問を解く。問題は、実社会で直面する様々な課題を模したものとなっており、それを数理情報科学によって解決する数理的な問題解決能力（数学的な理解力、分析力、思考力、発想力など）が強く求められる。

#### ◆日本情報オリンピック (JOI=Japanese Olympiad in Informatics)

1993年に財団法人数学オリンピック財団の協力のもとに国際情報オリンピック日本委員会が発足。同年に第1回日本情報オリンピックを開催し、1994年の第6回国際情報オリンピック・スウェーデン大会に2名の代表選手を派遣した。その後1996年までの3年間に延べ6名の選手を国際情報オリンピックへ派遣した。1997年から2005年は一時国際大会への選手派遣を見送ったが、2005年に特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会を設立し、2006年から国際大会への選手派遣を再開。2006年の第18回国際情報オリンピック・メキシコ大会より以後、毎年4名の代表選手を派遣している。2015年のカザフスタン大会への代表選手を選抜する2014年度の国内予選（第14回日本情報オリンピック）には、全国から1,121名が参加。第一次・第二次選抜、および2015年3月に開催された日本代表選手選考となる春季トレーニング合宿を経て、今回の国際大会の代表4名を決定した。

#### ◆ 本参考資料に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 事務局 杉浦 橋本

TEL 03-5272-9794 Fax 03-6736-0510

E-mail : [info@ioi-jp.org](mailto:info@ioi-jp.org)

ホームページ <https://www.ioi-jp.org/>